



農家の支え手を育成する拠点が誕生！ ～ 練馬区農の学校の開校式を開催～

と き 3月14日(土) 午前10時～午前10時30分

と ころ 練馬区農の学校事業地(練馬区高松1-35-2)

14日(土)、練馬区高松一丁目の区の事業用の畑で、練馬区の農家の支え手を育成し、マッチングを行う「練馬区農の学校」の開校式を開催する。

農の学校の平成27年度の事業は「農とのふれあい・体験コース(春夏)」・「初級コース(春夏)」・「中級コース」の3コースで構成し、農業の魅力と役割を伝え、農家を支える人材を育成する。

当日は各コースから46人が開校式に参加する予定。

「農とのふれあい・体験コース」は、子どもを含む家族が参加し、野菜の作付けや収穫体験を通じて、農とふれあう楽しさを学ぶことができる。また、「初級コース」・「中級コース」の受講では、農家の支え手として必要な技術を学ぶことができ、修了後は、「ねりま農サポーター」の認定が受けられる。

農の学校では、区内農家とねりま農サポーターのマッチングや仲介等のコーディネートを行い、ねりま農サポーターの活躍の場を創出する。

上記の3コースの募集は、既に終了しているが、6月頃に「農とのふれあい・体験コース(秋冬)」・「初級コース(秋冬)」の募集を予定している。



農の学校風景



受講の様子(イメージ)

【開校式スケジュール(予定)】

時間	内容	場所
9:30～10:00	参加者、来賓および報道機関受付	畑入口
10:00～10:30	開校式(区長挨拶、来賓紹介等)	畑(雨天時はビニールハウス)
10:30～11:30	オリエンテーション (会場案内・事業説明等)	畑

開校式詳細

区長挨拶 来賓祝辞(練馬区議会議長) 来賓紹介 講師紹介
植樹式(樹種名クリ 品種(ぼろたん)2本)
土かけおよび水やり
雨天時は、土かけのみとする。

【農の学校の役割】

農の学校は、都市農業に関わる人材育成・活用構想を推進するため、区民に農業の魅力と役割を伝え、農に関心を持つ区民の中から農業を支える人材を育てるとともに、人材が活躍する場を提供する拠点として開設するものであり、つぎの5つの役割を担う。

農とふれあう区民に学びの場を提供する。 農業者の支え手となる人材を育成する。 農の魅力や大切さを区民に伝える情報発信を行う。 区民・農業者・支え手の交流機会を提供する。 修了生と支え手を必要とする農家とのマッチングを行う。